

平成20年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [国語A：主として知識]

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|--|-------------------------------------|---|
| 1ー | 話合いの一部を読み、発言の仕方の良い点の説明として適切なものを選択する | 話の構成に注意しながら的確に聞き取る | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 話の構成に注意しながら的確に聞き取ることに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 話合いを進めていくためには、まず相手の発言を的確に聞き取ることが大切である。その際、それぞれの立場、考え、意見をどのように述べているか、それらを支える根拠が示されているかなど、話の内容だけではなく話の構成にも注意するよう指導する必要がある。</p> |
| 1ーア | 話合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選択する | 話合いの方向をとらえて、適切な発言をする | <p><本市の状況> ○ 相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 話合いをする際には、話合いの方向を意識しながら発言することが大切である。そのためには、話合いの過程を振り返り、自分や他の参加者の発言が適切であったかどうか、互いに評価し合う活動を位置付けることが大切である。また、司会として、話合いを望ましい方向に進める発言の仕方などについて、今後も具体的に指導していくことが必要である。</p> |
| 1ーイ | 話合いの方向をとらえた司会の適切な発言を選択する | | |
| 2ー虎 | 故事とその解説を読み、「虎」にたとえられている人物を選択する | 文章の展開に即して内容を読み取る | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 古典の文章を展開に即して内容を読み取ることに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 古典を指導する際には、原文・現代語訳・解説など複数の文章を生徒の実態に応じて取り上げ、まず生徒の古典に対する興味・関心を高めるように指導していく必要がある。</p> |
| 2ー狐 | 故事とその解説を読み、「狐」にたとえられている人物を選択する | | |
| 2二 | たとえ話を踏まえ、故事成語（虎の威を借る狐）の意味として適切なものを選択する | 文章の展開をおさえながら中心的な内容を考える | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 故事成語を理解させる指導に当たっては、もともなった故事などを踏まえて言葉の意味を確認させることも大切である。その際、登場人物同士の関係、その話に込められた意図や教訓に目を向けて内容をとらえさせることが必要である。日常生活の中で使われている故事成語を探させたり、自分の文章の中で使わせたりする指導も効果的である。</p> |
| 3ー | 意見文に対する評価として適切なものを選択する | 論理の展開に着目し、評価・批評する | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 論理の展開に着目して評価・批評することに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 書くことの指導では、書いた文章を互いに読み合い評価・批評するような学習場面を設定することが必要である。その際、文章の構成や論理の展開の仕方、材料の活用の仕方などに注目させ、根拠を示しながら評価・批評させることが重要である。また、自分の表現に生かすという視点をもって、評価・批評させることが大切である。</p> |
| 3二 | 他の人の意見文を参考に段落分けをしたものとして、適切な組合せを選択する | 適切な段落を設けて、論理的な文章にする | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 自分の意見を客観的にとらえることに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 文章を書く際の段落構成の指導においては、文章の中の段落の役割(問題提起・具体例・結論など)、文と文との接続関係(段落における各文の役割や接続関係)などを考えさせることが大切である。</p> |
| 4ー | インタビューをする際の心がけとして適切なものを選択する | 効果的なインタビューにするための準備をし、調べたことなどを適切に生かす | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ インタビューの指導をする際には、相手の話を十分に理解したり質問内容を整理したりするために、下調べなどの事前の準備をさせることが大切である。</p> |

平成20年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 [国語A：主として知識]

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|--------------------------------------|-----------------------------------|---|
| 4二 | インタビューの展開に即した質問を書く | 話し手の意図を理解し、インタビューの展開を考えて、適切な質問をする | <p><本市の状況> ○ 相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ インタビューでは、話し手の意図や話の展開を的確にとらえ、相手の発言に応じて質問をすることが今後も大切である。実際のインタビューにおいては、予想外の応答や展開から興味深い話に出会う可能性もある。そこで、相手の発言や様子に応じて、事前に準備していた質問にかえて、そのことについてさらに詳しく尋ねることなどの学習をしていく必要もある。</p> |
| 5一 | 事象（茶わんの湯気の渦の様子）について書かれた一文を本文中から探して書く | | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 文章の内容に即して内容や要点を読みとることに課題がある。 ○ 誤答としては、一文を抜き出すという設問の指示に合っていないものがある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 内容理解のためには、文章の展開に即してその内容や要点を読み取らせることが必要である。 ○ 文章、段落、文、文節、単語といった、基礎的な言葉の単位についての理解を確実に図ることも大切である。</p> |
| 5二 | 記述の一部を、文章中の他の言葉を使って書き換える | 論理の展開の仕方に即して、内容を読み取る | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 論理の展開の仕方に即して内容を読み取ることに課題がある。 ○ 誤答としては、文末の語の指定、使用する単語の制限などの設問にある条件を満たしていないものがある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 展開に即して指示語の示す内容などを考えて読み、内容を正確に理解させることが大切である。読み取ったことを目的や必要に応じて書き換えたり、要約したりするなどの学習を取り入れることが効果的である。</p> |
| 5三 | 文章の展開についての説明として適切なものを選択する | 文章の展開の仕方を読み取る | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 物語や小説だけでなく、科学的な内容を扱った文章をはじめとして様々な種類の文章に触れさせる機会を意図的に設けていく必要がある。その際に、中学生向けに書かれている科学的な読み物などを紹介し生徒が読書に親しむように働きかけていくことも重要である。</p> |
| 6一 | 漢字を書く（将来のことは <u>ヨソ</u> でできない） | 文脈に即して漢字を正しく書く | <p><本市の状況> ○ 「背景」については全国と同様な正答率である。 ○ 「予測」「保つ」については全国と比較してやや低い正答率である。 ○ 文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 漢字を書くことの指導においては、漢字の字形や画数、読みや意味などの基本的な事項を確実に指導し、日常的に使用するように促すことが引き続き必要である。</p> |
| 6二 | 漢字を書く（富士山を <u>ハイケイ</u> に写真を撮る） | | |
| 6三 | 漢字を書く（一定の温度を <u>タモ</u> つ） | | |

設問別調査結果 [国語A：主として知識]

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|--------------------------------------|----------------------|---|
| 6二1 | 漢字を読む(標準記録を突破する) | 文脈に即して漢字を正しく読む | <p><本市の状況> ○ 相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 漢字を読むことの指導においては、部首に着目したり、同じ漢字を用いた他の語句と関連させたりしながら、文脈の中で意味を理解しながら読むことができるように今後も指導することが大切である。</p> |
| 6二2 | 漢字を読む(このホールは音響効果が良い) | | |
| 6二3 | 漢字を読む(世界の平和を近する) | | |
| 6三ア | 適切な同訓異字を選択する(お皿のふちが欠ける) | 語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う | <p><本市の状況> ○ アからエについては相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である。 ○ オからキについては、全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 同音異義語、類義語、慣用句、敬語など語句の指導においては、語句そのものの意味を指導するだけでなく、日ごろの会話や記述でも意識し、様々な語句や表現に慣れ親しませるようにすることが今後も大切である。</p> |
| 6三イ | 適切な類義語を選択する(考えを変えるように彼を説得してください) | | |
| 6三ウ | 適切な副詞の呼応を選択する(彼の性格を考えると、おそろしく来ないだろう) | | |
| 6三エ | 適切な語句を選択する(大水のために、他の町との交通がしばらくとだえた) | | |
| 6三オ | 適切な語句を選択する(彼がこの討論の口火を切った) | | |
| 6三カ | 適切な敬語を選択する(校長先生は、壁にはった生徒の絵をご覧になりました) | | |
| 6三キ | 適切な同音異義語を選択する(中学生を対象に調査する) | | |
| 6四 | 行書、楷書の特徴の説明として適切なものを選択する | | |
| 6五 | 見やすく書かれている伝票の説明として適切なものを選択する | 配列・配置に注意して書く | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 配列・配置に注意して書くことに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 伝票や申込書などの実用的な文書を書かせる際には、読む人の立場に立って、文字の大きさや中心線に気を付けさせるだけでなく、適切な箇所ですら区切ったり改行したりすることで読みやすい文書になるよう指導することが大切である。</p> |

設問別調査結果 [国語A：主として知識]

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|---------------------------------|----------------------------|---|
| 6六ア | 漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する(街頭) | 辞書を活用して、漢字が表している意味を正しくとらえる | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 使用頻度の少ない語句の正答率が低く、豊かな語彙で表現することに課題がある。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 語句と語句との意味の関連、類義語の微妙なニュアンスの違いなどを考えさせることを通して、言葉について考えることの面白さを味わわせることが大切である。また、漢和辞典を積極的に使い、漢字に様々な意味があることに注目するよう指導することも大切である。 ○ 中学生が使う語句の範囲は限られているので、社会生活の中で使われる語句に関心向けさせることが重要である。生徒が自発的に言葉に関心をもって調べたいくなるよう、漢字や語彙の指導を工夫することが必要である。例えば、中学生になじみの薄い語句を取り上げ、漢字の意味を手がかりに語句の意味を推測してから辞書で調べたり、その語句を別の言葉で言い換えたりする学習活動が考えられる。 |
| 6六イ | 漢和辞典で調べた意味の中から、ふさわしいものを選択する(年頭) | | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 辞書を活用して、慣用句の意味を適切に書くことに課題がある。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 分からない語があったり言葉の使い方に疑問を感じたりしたときに、辞書を引いて意味や用法を確かめるという習慣を確実に身に付けさせるような指導が必要である。 ○ 語句の意味を調べ、前後の文脈に当てはめて理解するだけでなく、その文全体を自分の言葉で書き換えたり、分かりやすく説明したりする学習活動を取り入れることが大切である。 |
| 6七 | 国語辞典で調べたことをもとに、慣用句の意味を書く | 辞書を活用して、慣用句の意味を適切に書く | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音読や朗読などを通して、語句の意味のまとまりを考えさせたり、文語文のもつ独特のリズムを味わわせたりするなど、古典に慣れ親しませることが引き続き大切である。 |
| 6八ア | 「竹取物語」の冒頭部分の文章に句点をつける | 古文の中の文のまとまりをつかむ | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「いふ」については相当数の生徒ができており、全国と同様な正答率である ○ 「みたり」については全国と比較してやや低い正答率である。 ○ 「現代仮名遣い」や「歴史的仮名遣い」などの学習用語の理解に課題がある。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 音読や朗読を通して、古文の特徴である仮名遣いの違いに注意して文語文を正しく読む力を身に付けさせる必要がある。また、「ゐ」、「ゑ」については、その基になった漢字である「為」、「恵」に触れながら指導することも効果的である。 |
| 6八イ① | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(いふ) | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読む | |
| 6八イ② | 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す(みたり) | | |

平成20年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 【国語B：主として活用】

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|-------------------------------------|--|---|
| 1一 | 資料中の言葉(フロリゲン)についての適切な説明を選択する | 文章の内容を正確にとらえる | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 資料に書かれている内容を正確に読みとることに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 文章の内容を正確にとらえるためには、5W1H(いつ・どこで・だれが・何を・なぜ・どのように)に注目したり、図式化したりしながら、出来事の時間的な経過や因果関係などを整理するように指導することが大切である。</p> |
| 1二 | 資料中の文章表現の仕方についての適切な説明を選択する | 文章が書かれた目的を考え、表現の仕方の特徴をとらえる | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 資料を比較して、その違いを読みとることに課題がある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 文章の内容の理解を深めるためには、書き手が文章を書こうとした目的と、それに応じた表現の仕方に注意することが大切である。説明的な文章においては、文章の中心の部分と付加的な部分、事実と意見を読み分けさせる指導が必要である。</p> |
| 1三 | 別の資料に書かれている新しい情報を選び出し、条件にしたがって書き換える | 資料に書かれている情報の中から必要な内容を選び、伝えたい事柄が明確に伝わるように書く | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを的確に表現することに課題がある。 ○ 誤答としては、二つの文章を比較し、必要な情報を取り出すことが出来ないなど、設問の条件を満たしていないものがある。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 様々な情報を吟味し目的に応じて、必要なものを選び取る能力を身に付けさせることが大切である。関連する複数の情報を比較し、共通点や相違点をまとめるなど、情報を整理する学習に取り組ませることが大切である。なお、様々な情報を得る際に、出典や作成者を明確にするとともに、情報が発信された時期に注意させることも重要である。 ○ 取り上げた事実や事柄、課題に関する材料についてメモしたり、カードにまとめたりした後、その情報を取捨選択したり、いつ・どこで・だれが・何をといったことなどに基づいて整理し、伝えたい事実や事柄を明確にする指導が必要である。</p> |
| 2一 | 登場人物の関係を適切に表している組み合わせを選択する | 登場人物の人間関係を整理する | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 文章を読む際には、まず登場人物の人間関係を正確に把握することが大切である。文章の人間関係を生徒自身に図示させるなど、物語の基本となる部分を生徒が把握しているかを確認した上で学習を進めることが大切である。</p> |
| 2二 | 登場人物の行動から読み取れる心情として適切なものを選択する | 登場人物の心情をとらえる | <p><本市の状況> ○ 全国と同様な正答率である。</p> <p><学習指導に当たって> ○ 登場人物の心情は、行動や会話に反映されることが多い。具体的に心情が書かれていなくても、行動や会話から心情を考える学習に取り組ませることが必要である。その際、文章の一部から短絡的にとらえるのではなく、前後の文脈や全体の流れの中で、表現の仕方や文章の特徴に留意しながら考えるよう指導することが大切である。</p> |

平成20年度全国学力・学習状況調査
設問別調査結果 【国語B：主として活用】

| 設問番号 | 設問の概要 | 出題の趣旨 | 相模原市の結果についての分析 |
|------|---|--|---|
| 2三 | 登場人物の行動を読み取り、付箋に整理して書く | 表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に合った表現に直して書く | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 表現に注意しながら文章を読み、読み取った内容を条件に合った表現に直して書くことに課題がある。 ○ 無答率が高い。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文学的な文章において、展開を整理したり登場人物の行動や会話を比較したりする場合には、付箋やカードを使ったり図や表に整理して学習することが有効である。また、生徒自らが図や表の形式を考えて内容をまとめたりする学習場面を設けることも大切である。 |
| 2四 | 登場人物が大切にしていると考えられることを四字熟語と関連付け、80字以上120字以内で書く | 文章に表れているものの見方や考え方について、四字熟語を手がかりにして理解し、説明する | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 与えられた条件に即して書くことに課題があるとともに、四字熟語を手がかりにしながら理解したり、具体例を示しながら効果的に説明したりすることに課題がある。 ○ 誤答としては、四字熟語をいずれも用いていなかったり、二つの四字熟語を両方とも使うなど、設問で与えられた条件に即して書かなかったものがある。 ○ 無答率が高い。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」の指導においては、文章を主体的に読むとする態度を育てることが大切である。例えば、本設問のように、昔の人の考えを知るために読むというような目的を設定したり、四字熟語と関連付けてまとめるというような方法を例示したりすると、主体的な読みにつながりやすいと考えられる。 ○ 読み取ったことを効果的に説明するために、その方法を工夫させる指導が必要である。その際、具体例を示しながら説明したり、四字熟語や故事成語、他の文章と関連付けたりするなどの方法を具体的に示すことも必要である。 ○ 文章に表れているものの見方や考え方について説明する上で、登場人物の心情を理解したり、内容を読み取ったりする学習も大切である。 |
| 3一 | レポートの内容についての適切な説明を選択する | レポートの特徴や工夫をとらえる | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ レポート等を作成する場合、目的に応じた資料収集や、根拠として資料をどう活用するかを考えるよう指導することが大切である。 |
| 3二 | グラフから読み取れることの説明として、適切なものを選択する | 文章やグラフから必要な情報を正しく読み取る | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 文章やグラフから必要な情報を正しく読み取ることに課題がある。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 情報を読み取ることについて指導する際は、文章と関連させて図表やグラフなどから必要な情報を得る学習も取り上げる必要がある。文章やグラフから分かることを適切な言葉で説明することや、相手にわかりやすく伝える表現の仕方を指導することも大切である。 |
| 3三 | 「全然」の使い方についての自分の考えを、根拠を明確にして70字以上100字以内で書く | 読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書く | <p><本市の状況></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 全国と同様な正答率である。 ○ 読み取った情報を根拠として示しながら、自分の立場を明確にして意見を書くことに課題がある。 <p><学習指導に当たって></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の意見や考えに説得力をもたせるためには、中心となる主張を明確にすることと、具体的な資料を活用して主張の裏付けとなる根拠を明らかにすることの指導が必要である。その際、プレゼンテーションなどで説明を分かりやすくするために図や表を用いたり、考えを裏付けるために統計や調査のデータを用いたりするなど、目的に応じて資料を適切に使い分ける必要がある。また、資料を用いる際には、適宜引用するなどして正しく説明させることが大切である。 ○ 言葉を大切にし、分かりやすく表現する力を身に付けるためには、国語を学ぶ基本的な資料として、国語辞典などを使って指導することが大切である。一冊だけでなく複数の辞書を比較したり、辞書に書かれている内容や事柄、例などを基に自分の考えを書いたりするなどの辞書を活用した指導が効果的である。 |